

□ 1978年度支部総会報告 □

● 北海道支部 ●

開催日時 1978年5月20日
 場 所 電々公社 五十嵐寮
 議 事 (省略)

○1977年度 収支決算書 1977. 3. 1～1978. 2. 28

科 目	予 算	決 算
(収入の部)		
本部交付金	178,000	178,000
参加費	10,000	16,000
利息	0	5,227
雑収入	0	75,000
合 計	188,000	274,227
(支出の部)		
会議費	90,000	67,609
講演会費	60,000	83,060
研究会費	40,000	12,232
通信費	20,000	22,570
交通費	10,000	3,550
事務費	30,000	5,890
予備費(雑費)	30,000	0
合 計	280,000	194,911
当期運営残高		79,316
前期繰越金		292,738
次期繰越金		372,054

○1978年度 事業計画案

1. 昭和53年度春季大会を開催する。
2. 研究会 年間3, 4回実施する。
3. 月例講演会 今年度1回を予定。テーマ, 講演者は別途決定する。

○1978年度 収支予算案 1978. 3. 1～1979. 2. 28

収 入		支 出	
科 目	予 算	科 目	予 算
前期繰越金	372,054	会議費	80,000
本部交付金	178,000	講演会費	50,000

会議費負担金	20,000	研究会費	50,000
		通信費	30,000
		事務費	20,000
		交通費	10,000
		雑費	30,000
		次期繰越金	300,054
合 計	570,054	合 計	570,054

○1978年度 役員

支部長 加地郁夫 (北大)
 運営委員 沼田 久 (小樽商大), 大内 東 (北大), 天野豊治 (北海道工大), 宮本行夫, 樋口喜一 (電々), 阿部昌信 (北海道総合経済研)
 監事 (兼運営委) 村上 融 (国鉄), 宮町昌宏 (北電)
 幹事 (") 浅利英吉 (東海大), 中山道夫 (北電)

● 東北支部 ●

開催日時 1978年5月16日
 場 所 東北電力
 議 事 (省略)

○1977年度 収支決算書 1977. 3. 1～1978. 2. 28

科 目	予 算	決 算
(収入の部)		
本部交付金	164,000	164,000
利息	1,500	941
合 計	165,500	164,941
(支出の部)		
会議費	95,000	96,030
講演会費	16,000	20,000
研究会費	44,000	26,930
印刷費	10,000	4,800
通信費	17,000	14,400
交通費	25,000	42,670
事務費	2,000	1,403
予備費	7,232	0
合 計	216,232	206,233

当期運営残高	△50,732	△41,292
前期繰越金	50,732	50,732
次期繰越金	0	9,440

○1978年度 事業計画案

- (1) 会 議
 - a. 総 会 1回開催
 - b. 運営委員会 1回開催
 - c. 幹 事 会 3回程度開催
- (2) 講 演 会 2回程度開催
- (3) 研 究 会 3回程度開催
- (4) OR普及活動
- (5) 会 員 増 強
- (6) 親 睦 行 事

○1978年度 収支予算案 1978. 3. 1~1979. 2. 28

収 入		支 出	
科 目	予 算	科 目	予 算
前期繰越金	9,440	会 議 費	90,000
本部交付金	164,000	講 演 会 費	16,000
利 息	1,000	研 究 会 費	24,000
		印 刷 費	5,000
		通 信 費	15,000
		交 際 費	20,000
		事 務 費	2,000
		予 備 費	2,440
合 計	174,440	合 計	174,440

○1978年度 役 員

- 支 部 長 松田 彰 (東北電力)
 副支部長 御園生善尚 (東北大学), 辻 明 (東北電通局)
 運営委員 和田秀三 (東北大), 竹内 清 (東北大), 木村正行 (東北大), 古瀬大六 (東北大), 小川久 (山形大), 富田耕造 (河北新報), 荒川昭 (東北電通局), 安岡九寿男 (東北地建), 加藤幸雄 (東北電力), 今村一郎 (東北電力), 本間四郎 (東北電力)
 監 事 手島恒男 (東北大), 鈴木義也 (東北大)
 幹 事 後藤義雄 (河北新報), 藤田信夫 (東北地建), 高橋幸雄 (東北大), 安藤二郎 (東北工大), 山本 保 (東北電力), 五十嵐豊 (東北電力), 国井匡裕 (東北電力)

● 中部支部 ●

開催日時 1978年3月14日

場 所 愛知県中小企業センター
 議 事 (省略)

○1977年度 収支決算書 1977. 3. 1~1978. 2. 28

科 目	予 算	決 算
(収入の部)		
本部交付金	358,000	376,000
講演会交付金		59,300
利 息		9,006
合 計	358,000	444,306
(支出の部)		
会 議 費	35,000	27,477
講 演 会 費	50,000	101,297
事 務 費	150,000	150,000
通 信 費	80,000	93,310
印 刷 費	60,000	79,500
予 備 費	70,437	0
合 計	445,437	451,584
当期運営残高	△87,437	△ 7,278
前期繰越金	87,437	87,437
次期繰越金	0	80,159

○1978年度 事業計画案

- 支 部 総 会 1回
 運営委員会 2~3回
 幹 事 会 数回
 支部研究発表会 1回
 OR学会月例講演会 1回
 講 演 会 1~2回
 研 究 会 数回
 見 学 会 1~2回
 懇親ハイキング・ソフトボール 1~2回
 懇 親 会 1回
 支部=ユースの刊行 12回

○1978年度 収支予算案 1978. 3. 1~1979. 2. 28

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	80,159	会 議 費	35,000
本部交付金	362,000	講 演 会 費	50,000
		事 務 費	150,000
		通 信 費	95,000
		印 刷 費	60,000
		予 備 費	52,159
合 計	442,159	合 計	442,159

○1978年度 役 員

支部長 本告光男 (中部電力)
 副支部長 飯原慶雄 (南山大学)
 運営委員 天野菊彦 (中部品質管理協会), 岩田 怜
 (名鉄コンピュータ・サービス), 飯田次生
 (日本碍子), 木村 修 (トヨタ自動車工業),
 児玉正憲 (名古屋工業大学), 田口良平 (東
 海銀行), 田中庸平 (中部電力), 中川覃夫
 (名城大学), 日比野康文 (愛知学院大学),
 平石義則 (神鋼電機), 福村晃夫 (名古屋大
 学), 藤波 健 (東邦ガス), 福田治郎 (愛知
 大学), 藤本憲雄 (三菱重工業), 妙見 孟
 (名古屋市立大学), 村田秀雄 (仙波特許事
 務所), 山田英夫 (三菱自動車工業), 山下照
 (トヨタ自動車工業), 山本 勝 (名古屋工
 業大学), 吉野玄一 (日本電信電話公社), 依
 田 浩 (名城大学)
 監 事 沢 嘉也 (名城大学), 内田欣一 (日本電信
 電話公社)
 幹 事 天野菊彦 (中部品質管理協会), 中村淳一
 (三菱重工業), 辻 紘良 (豊田中央研究所),
 山本 勝 (名古屋工業大学), 中田友一 (中
 京大学)
 顧 問 小野勝次 (名古屋大学), 西沢 勇 (中日新
 聞社)

● 関西支部 ●

開催日時 1978年4月18日
 場 所 中央電気クラブ
 議 事 (省略)

○1977年度 収支決算書 1977. 3. 1~1978. 2. 28

科 目	予 算	決 算
(収入の部)		
本部交付金	512,000	494,000
預貯金収入	0	6,219
合 計	512,000	500,219
(支出の部)		
会議及び総会費	80,000	59,080
研究活動費	400,000	341,645
通 信 費	90,000	53,300
交 通 費	70,000	13,000
事 務 費	30,000	29,640
予 備 費	90,075	17,700
合 計	760,075	514,365

当期運営残高	△14,146
前期繰越金	248,075
次期繰越金	233,929

○1978年度 事業計画案

1. 総会記念講演会の開催
2. 支部大会の開催
3. OR研究講演会の開催 (4回を予定)
4. 研究部会の開催
 - (i) 信頼性
 - (ii) ゲームの理論

○1978年度 収支予算案 1978. 3. 1~1979. 2. 28

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
本部交付金	498,000	会議および 総会費	80,000
前期繰越金	233,929	研究活動費	400,000
		通 信 費	90,000
		交 通 費	50,000
		事 務 費	50,000
		予 備 費	61,929
合 計	731,929	合 計	731,929

○1978年度 役 員

支部長 西田俊夫 (大阪大学)
 副支部長 加瀬滋男 (大阪府立大学)
 監 事 原田英介 (住友銀行), 木内佳市 (大阪大学)
 運営委員 三根 久 (京都大学), 西田光男 (住友電工),
 藪納丈夫 (関西電力), 太田 宏 (大阪府立
 大学), 秋葉 博 (神戸商科大学), 竹田英二
 (神戸商科大学), 関田康慶 (大阪大学), 石
 井博昭 (大阪大学), 青沼龍雄 (神戸商科大
 学), 茨木俊秀 (京都大学), 大野勝久 (京都
 大学), 後藤昌司 (シオノギ製薬), 田畑吉雄
 (大阪大学), 森 健一 (大阪府立大学), 中
 野友次 (松下電子), 宮崎秀紀 (兵庫県庁),
 中井暉久 (大阪大学), 阿澄一寛 (住友金属)

● 中国・四国支部 ●

開催日時 1978年3月23日
 場 所 中国電力
 議 事 (省略)

○1977年度 収支決算書 1977. 3. 1~1978. 2. 28

科 目	予 算	決 算
(収入の部)		
本部交付金	242,000	256,000

本部交付金	0	107,800
預金収入	1,000	2,065
合 計	243,000	365,865
(支出の部)		
会 議 費	20,000	9,180
講演会費	80,000	81,355
研究会費	20,000	0
通 信 費	50,000	49,730
印 刷 費	35,000	51,700
交 通 費	20,000	2,000
事 務 費	15,000	26,575
雑 費	15,856	0
20周年記念事業費	0	119,445
合 計	255,856	339,985
当期運営残高		25,880
前期繰越金		12,856
次期繰越金		38,736

○1978年度 事業計画案

1. 総 会 1 回
2. 役員会 1 回
3. 幹事会 若干回
4. 講演会 4 回
5. 研究発表会 4 回
6. その他

○1978年度 収支予算案 1978.3.1~1979.2.28

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	38,736	会 議 費	20,000
本部交付金	274,000	講演会費	100,000
預金収入	1,000	研究会費	40,000
		通 信 費	50,000
		印 刷 費	50,000
		交 通 費	20,000
		事 務 費	20,000
		雑 費	13,736
合 計	313,736	合 計	313,736

○1978年度 役員

支 部 長 青木兼一 (広島大学)
 副支部長 石田 甫(宇部興産), 奥田好郎(四国電力),
 権藤 元(中国電力), 中條安雄(東洋工業)
 支部評議員 尾崎俊治 (広島大学), 佐藤洋一 (四国電力),
 雑賀 晋 (岡山県庁), 柴田隆史 (広島修道大学),
 新宮哲郎 (広島大学), 住山哲夫

(中国電力), 平岡寿一 (電々中国), 布留川靖 (広島大学), 藤永靖彦 (宇部興産飲料), 松富武雄(近畿大学), 松村正一(電々四国), 山本純恭 (広島大学)

支部監事 佐々木右左 (広島工業大学), 村上滋熙 (電々中国)

支部幹事 神取秀夫 (宇部興産), 久保田洋志 (広島工業大学), 桑原兵二郎 (近畿大学), 熊谷信之 (電々中国), 坂口通則 (広島修道大学), 潮見 統 (四国電力), 平木秀作 (広島大学), 藤永靖彦 (宇部興産飲料), 増本借二 (中国電力), 松尾義明 (電々中国), 三上幸夫 (東洋工業), 和田 弘(石田データ・サービス)

● 九州支部 ●

開催日時 1978年 3月22日

場 所 九州電力

議 事 (省略)

○1977年度 収支決算書 1977.3.1~1978.2.28

科 目	予 算	決 算
(収入の部)		
前年度からの繰越	544,332	544,332
本部交付金	164,000	164,000
利 息	10,000	15,942
合 計	718,332	724,274
(支出の部)		
会 議 費	50,000	49,740
研究活動費	108,000	130,710
通 信 費	49,000	26,310
雑 費	10,000	5,060
合 計	217,000	211,820
次年度への繰越	501,332	512,454

○1978年度 事業計画案

1. 会 議
 - ① 支部総会
 - ② 運営委員会 (随時)
2. 研究活動……基本方針は前年度に同じ
 - ① 月例研究会 (毎月第2火曜)
 - ② 講演会……①のうち2回程度をこれにあてる。
 - ③ 見学会, 各種懇談会 (随時)
3. 来春の全国大会準備

○1978年度 収支予算案 1978.3.1~1979.2.28

収 入		支 出	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度からの繰越	512,454	会 議 費	60,000
本部交付金	178,000	研究活動費	70,000
利 息	10,000	通 信 費	40,000
		大会準備費	100,000
		雑 費	10,000
合 計	700,454	計	280,000
		次年度への繰越	420,454

支部ニュース

北海道支部

本年から春季大会が“地方”で行なわれることとなり、さる5月31日～6月2日の間、札幌市で開催されました。明年は九州にて3月下旬に行なわれると承わっております。南北に長くのびているわが国では、〈春〉といってもほぼ2か月のずれがあることとなります。

おかげさまで大会は盛会裡に終了しました。ご参加の皆様には厚くお礼申し上げます。先般、後処理が完了し、支部一同一息ついたところで、つぎなる諸々の行事はこれからであります。大会の様相については別途報告しておりますが、ここでまた少々視点をかえて、それにまつわる話をちょっと語らせていただきたいと思います。

大会最終日の札幌市内見学バストリップでの寸劇。ガイド嬢のいわく「皆さん“地方”からお出でですか？」いわゆる“中央”からの面々、あちこちで苦笑と失笑。

実はこの一幕は大きな問題を含んでいると思います。今は昔、シベリアンを“地方人”と称したのは帝国陸海軍でありましたが、これは不愉快な蔑称でした。当今、どこの観光バスのガイドさんも〈地方〉なる語を使うようですが、多少地域的中華意識のニオイなきにしもあらずだが、かえってごあいきょうであります。まあ、中央だ地方だといってもそれは相対的なものでしかなく、20 km 上空から見れば日本国たるもの何のことはない、関東地方とか北海道地方だとかいるんな性格の“地方”のより集まりにすぎないじゃありませんか。そう考えたほうが合理的だし、当分しきりにいわれる国際感覚なる

○1978年度 役員

支 部 長 須永照雄 (九州大学)

副支部長 亀沢善一郎 (新日本製鉄)

支部運営委員 浅野長一郎 (九州大学)、荒井昭次 (三菱化成工業)、梅根 定 (西日本鉄道)、大熊隆吉 (新日本製鉄)、白石晃久 (黒崎窯業)、野村 武 (西日本新聞社)、藤木忠司 (日本電々公社)、藤野義一 (安川電機製作所)、古川長太 (九州大学)、森 昭 (九州電力)

支部顧問 三上 操 (九州大学)

支部監事 阿部良知 (九州電力)、福田晋一郎 (西日本鉄道)

ものを得るのに有益ではないでしょうか。(ガイドさん、「どこ(の地方)からおいでになったか」と聞けば正解であったと思うのですが、なにぶんにも新米さんでしたので)

ORの果たすべき役割に、ローカルな問題の普遍化というのがあるはずだと思います。その意味で、大会の特別講演テーマとなった、北海道の交通と北海道の経済問題はでかいものを含んでいたと信じます。「なにごととも5%」といわれる土地での特化した問題にみえながら、高度に普遍化できるものであります。もっとも時間が必要ですが、そこで最近、ある国会議員と某党出身の札幌市議員による、“国政と市政を結ぶパネルディスカッション”なるものを見る機会を得ました。提起されたのは、地方経済と自治体財政、積雪地交通、初等・中等教育、エネルギー開発といった問題で、ズバリ今季のOR学会の諸テーマともかみ合い、それらのどれもがどこの地方でも強い関心を引き起こす性質のものでした。たとえば地方経済や自治体財政の一件なんぞは(地方税は高いですねえ、チープ・ガバメントは実現できぬものか)東京でも鹿児島でも頭の痛い問題でしょう。また面白いことに過疎地の交通問題なるものは、一見まるで違う都市交通と、実は不可分の関係にあるようです。その他ORの課題となるべき難問は数々あって、まことに考えさせられる一刻でした。それにしても、政治家諸公、意外と勉強していないようだし、ひろく“ブレーション”を活用することに達者でないようだと感ずる向きが多かったですね。

ところで、ローカルなイベントながら全世界注目の的となっている青函海底トンネル、着々と工事進行中です。ほぼ3年後に開通する予定とのことですが、試験管ベビーに劣らず、世界に与えるインパクトは大きいでしょう。支部ニュースにことよせ、まずは地方主義強調の弁を一席。